



テーマ【 地域の環境とわたしたちの生活 】

《学習のねらい》

- 地域の自然環境について知り、自然を大切にしたり、自分たちの生活を見直したりすることができる。
- 自然環境や生活環境を守り、良くしていくための人々の工夫や努力を知り、自分たちの出来ることを考える。

《学習の流れ》

	学習活動の主な内容	指導のポイント
1 理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 狭山池や副池で、池の中にいる生き物や水辺の様子を観察する。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 虫・魚・植物だけでなく、水の透明性やゴミの有無にも気付かせる。</li> </ul>
2 社会科	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 狭山池に流れこむ西除川に生息するヒメボタルについて、「守る会」の方から聞き取りを行い、興味をもったことについて調べ学習をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 聞き取りから、ヒメボタルの生息のために必要なことと自分たちの生活との関連に気付かせる。</li> </ul>
3 社会科	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1日に自分が何に水を使ったかを、教科書に載っている各生活行動における水の使用量を参考に、計算する。</li> <li>• 水の使用量が教科書に掲載されていない場合は、実際にペットボトル等を用いて計測する。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 夏休み中に、日常生活で使う水の量を客観的に知るようにする。</li> </ul>
4 総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 水みらいセンター（下水処理場）を見学する。</li> <li>• 水道局の方々の出前授業を通して、浄水について学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 浄水の工夫や上下水道について理解を深め、環境問題と自らの生活との関係に気付かせる。</li> </ul>
5 総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 南河内清掃工場を見学し、ごみ問題についての理解を深める。</li> <li>• 環境問題について、自分でテーマを決めて、新聞づくりを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ これからの自分たちの生活について、工夫や改善点を考えさせる。</li> </ul>

《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

ヒメボタルを守る会、 大阪狭山市水道局

《成果（児童の感想や反応 等）》

- ヒメボタルが準絶滅危惧種であることが知り、環境問題が身近になり、環境保護の視点から生活を見直そうという意識が育った。
- 聞き取りや出前授業を通して、地域の人々の思いを感じ取ることができた。

